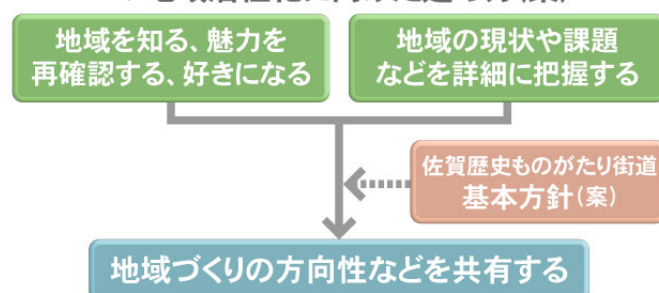


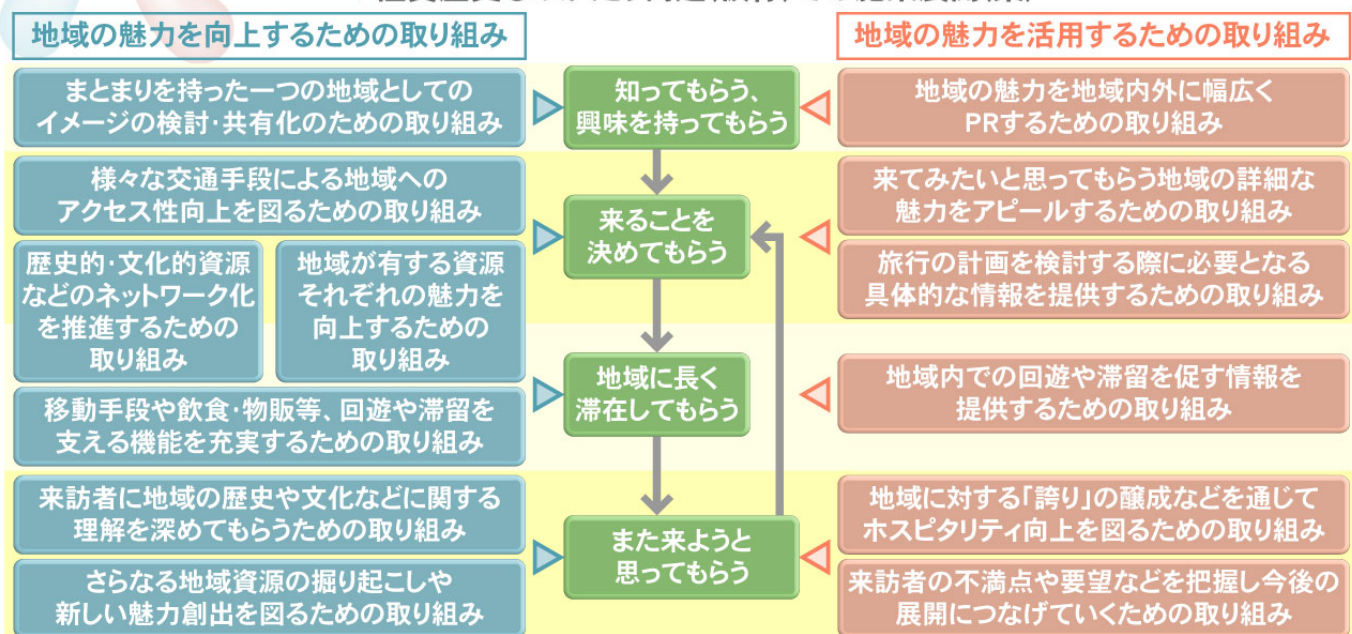
佐賀歴史ものがたり街道(仮称)の推進に向けて

歴史的・文化的な資源を有効に活用して、地域の活性化を図っていくためには、まずは地域の皆さんが地域をよく知り、地域の魅力を再確認して「好きになる」ことが必要です。

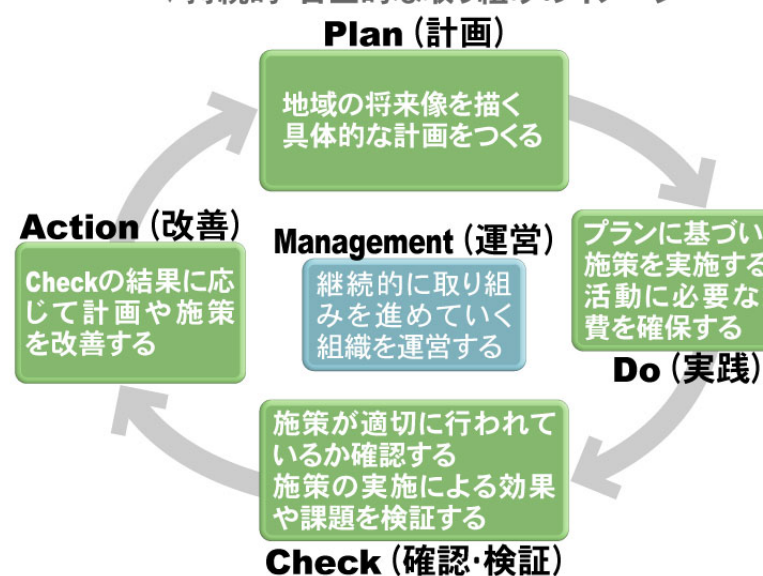
▼地域活性化に向けた進め方(案)



▼佐賀歴史ものがたり街道(仮称)での施策展開(案)



▼持続的・自立的な取り組みのイメージ



基本方針(案)について

この基本方針(案)は、あくまでも地域づくりの方向性を一つのイメージとしてご提案するものです。今後、地域の方々が主体となって検討を重ねていく際の「たたき台」などとしてご活用ください。

なお、「佐賀歴史ものがたり街道(仮称)」に関するご意見やご相談などについては、下記にお寄せ下さい。

国土交通省九州地方整備局 国営吉野ヶ里歴史公園事務所

〒842-0035 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手1869

tel:0952-53-3902(代) fax:0952-53-3910

～佐賀平野に流れる自然と歴史の風を感じて～

佐賀歴史ものがたり街道(仮称)

基本方針(案)



～佐賀平野に流れる自然と歴史の風を感じて～

広い空と田園風景が広がる佐賀平野は、古より人の営みが続く豊潤な土地。北は佐賀県立自然公園をなす脊振山脈、南は日本一の干満差を有する有明海に面しているため、他には類を見ない独自の風土が形成され、地域の人々とともに時を重ねてきました。

佐賀平野の風は数千年前から変わらずクリークや河川の水面をわたり、黄金色に輝く稲穂をそよがせています。

母なる大地の温かさを感じながら、のんびり時の移ろいに思いを馳せる、そんな癒しのひとときを「佐賀歴史ものがたり街道」で感じてみませんか。

※「佐賀歴史ものがたり街道(仮称)」のキャッチフレーズ案

はじめに

福岡県南部から続く筑紫平野の西半分を占める佐賀平野では、古くは縄文時代から集落がつくられ、古代から中世、近世、現代に至るまでどの時代においても地域の中心地として発展を続けてきました。そのため、多くの特色ある歴史的・文化的資源に恵まれています、その魅力はあまり知られていないのが現状です。

当地を訪れた観光客の皆さんを対象としたアンケート調査でも、こうした魅力を有効に活用することに対する要望が寄せられていますが、個別の歴史的・文化的資源それぞれの魅力を磨くことはもちろんのこと、地域に幅広く分布する歴史的・文化的資源の「ネットワーク化」を進めていくことで地域全体での魅力向上を図っていくことが重要になってきていると考えられます。

また一方では、こうした取り組みを通じた地域の活性化なども期待されています。このため、国営吉野ヶ里歴史公園事務所では「佐賀歴史ものがたり街道(仮称)」と題して、歴史的・文化的資源を活用した地域づくりの方向性などについての検討を進めていますが、その最初の取り組みとして、まずはこの地域に分布するさまざまな資源の特徴や地域の歴史などにもとづく「テーマ」や「共通キーワード」を盛り込んだ基本方針(案)をとりまとめました。

2つの共通キーワード

古代日本文化のあけぼの 平原光沢に伝わる遺跡群と徐福伝説

日本最大級の弥生時代の環壕集落である吉野ヶ里遺跡をはじめとした貴重な遺跡の広がりや、吉野ヶ里遺跡との繋がりが指摘される徐福の伝説など、古代日本の文化の始まりのものがたり



時の権力者を魅了する 黄金色にきらめく豊熟の佐賀平野

日本の歴史にも大きくかかわった院領荘園、神埼庄をはじめとする、大和朝廷による日本の形成から江戸幕府が始まるまでに起こった、豊かな農地をめぐる権力の移り変わりのものがたり



湧き上がる思いに導かれて 近代日本の礎をつくった長崎街道と佐賀の俊英

長崎街道を通じて新たな文化や技術が開き、「佐賀七賢人」をはじめとする藩士たちが日本の近代化にめざましく貢献した、日本史に燦然と輝く佐賀藩400年のものがたり



オンリーワンの水の郷 悠久の恵みをもたらす川と平野と有明海

背振山脈から流れる限られた水資源と、九州一の大河「筑後川」、日本一の干満の差を持つ有明海といった特異な水環境に囲まれた佐賀の、水にまつわるさまざまなものがたり



喫茶文化のはじまり 日本茶文化でなごみのひととき

背振山で栽培が始まり、佐賀出身の高遊外売茶翁の手によって庶民の食文化に広まっていった、日常生活に深く浸透している日本茶の普及にまつわるものがたり



佐賀が発祥
国指定の文化財等

